

## 研究科長のことば

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科長 徳丸吉彦

平成11（1999）年春、お茶の水女子大学の大学院人間文化研究科の博士後期課程に新しい専攻が誕生しました。それが「国際日本学」専攻です。本学のさまざまな部門で日本に関する研究をしていた教官を新しい3つのユニット（総合日本学、日本分析論、応用日本言語論）に統合したのです。その目的は、分野の異なる日本研究者のヨコのつながりを強化することと、新しい専攻にまとめることで、学内と学外の連携を強化することにあります。小規模でも国際的な研究集会を開くのも、そのための方策の一つでした。平成11（1999）年7月には、この専攻が中心になって『新しい日本学の構築』と題された国際シンポジウムを開くことができました。その報告書は同年12月に公刊されました。平成12（2000）年7月には、もう一つの博士後期課程の専攻である「比較社会文化学専攻」との共催で、『新しい日本学の構築Ⅱ』が開催され、平成13年3月にその報告書が公刊されました。

平成13（2001）年7月には、「国際日本学」専攻（専攻長 平野由紀子教授）と「比較社会文化学専攻」（専攻長 土屋賢二教授）の共催による第3回シンポジウム『新しい日本学の構築Ⅲ』が開催されました。ここに、その報告書を刊行することができますことをうれしく思います。今回のシンポジウムの開催に協力して下さった皆様に御礼申し上げます。また、実行のために助成をして下さったサントリー音楽財団と（株）オリーブカンパニーに厚く御礼申し上げます。

なお、平成14（2002）年の7月に第4回のシンポジウムの開催を計画しています。詳しい情報はお茶の水女子大学大学院人間文化研究科事務室（112-8610 日本国東京都文京区大塚2-1-1）にお問い合わせ下さい。